

いばらキラキラ 拠点だより

vol.13

6

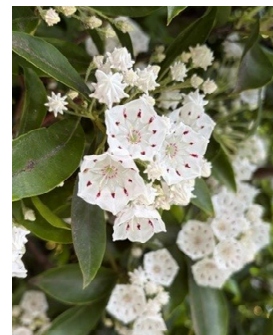
2026

CONTENTS

- TOPICS**
- ◆ 茨城県筑西市で新たに有機農業を始める農業者の定植会開催
 - ◆ いばらキラッと★ファーマーズ（さかどびより株式会社）
 - ◆ こども食堂・こども宅食への政府備蓄米の無償交付受付開始
 - ◆ 農薬危害防止運動 ～使用前、周囲よく見て ラベル見て～
 - ◆ 棚田めぐりしませんか？棚田カード第6弾 発行

- EVENT**
- ◆ 第14回「食品産業もったいない大賞」 **エントリー募集中！**
 - ◆ 第2回「食と農をつなぐアワード」 **取組募集中！**
 - ◆ 第2回「FOOD SHIFT セレクション」 **産品募集中！**

今月のいばらきスナップ



傘のような形のカルミア
(水戸市三の丸)

TOPICS

茨城県筑西市のオーガニックビレッジ創出のため、新たに 有機農業を始める農業者の定植会が開催されました！



茨城県筑西市では、持続可能な農業の推進を目的として、生産から消費まで地域ぐるみで有機農業に取り組む「オーガニックビレッジ」の創出に向けた取り組みを進めています。

令和8年度から、新たに3名の生産者が、「オーガニックビレッジ」の創出に向けた第一歩となる有機農業を開始することとなり、有機農産物試験栽培に係る苗（水稲、甘藷）の定植会を5月11日、25日、28日の3日間開催しました。

今回の記事では5月11日に参加した水稲の定植会をご紹介します。



5月11日に開催された水稲の定植会では、生産者の内田 浩史氏、筑西市長、JA北つくば常務理事、茨城県県西農林事務所所長、筑西市役所産業経済部部長、当拠点竹山地方参事官が水田に入り定植を行いました。

内田氏は、「有機栽培の一番の課題は除草だと思う。まだ不安があるが、筑西市とも連携しながら、やれることはやりきって、お米の提供が出来るまで頑張りたい。」とお話されていました。



茨城県内で、農業における選択肢が広がることを期待するとともに、農林水産省ではオーガニックビレッジに取り組む市町村を支援していきます。

食ミラプロジェクトInstagramでも取材を行いました！Instagramでは、3日間通した定植会の様子を、動画でご紹介しますので、こちらも是非チェックしてください！

https://www.instagram.com/syokumira_maff.kanto/?next=%2F&hl=ja



SYOKUMIRA_MAFF.KANTO

いばらキラッと★ファーマーズでは、茨城県内のキラッと輝く生産者さんをご紹介☆
 今月は、水戸市で活躍する「さかどびより株式会社 五位渚さん、岩井さん」をご紹介します！



さかどびより株式会社（水戸市）
 五位渚 ゆかりさん（右）
 岩井 妙渚子さん（左）

さかどびより
 株式会社さん
 のInstagram
 アカウント



SAKADOBIYORI_NOUGYOU

https://www.instagram.com/sakadobi-yori_nougyou?utm_source=ig_web_button_share_sheet&igsh=:ZDNlZDc0MzIxNW==



Q 1. 現在の栽培品目などを教えてください！



就農と同時にお世話になっている師匠の元で、学びながら実家が守ってきた酒門(地区)の農地で、トウモロコシとブロッコリーを主力に栽培しており、地元スーパーの生産者コーナーへ出荷しています。

季節ごとに様々な野菜作りにも挑戦中です。地域の皆さまに喜んでもらえる旬な野菜を新鮮なうちに、安心して食べていただける野菜作りを目指しています。

Q 2. 五位渚さんの就農のきっかけはなんですか？

もともと私は、農家の娘として生まれ育ちました。自家消費のお米と野菜を作っており、小さいころは遊びながら少し手伝っていた程度で、祖母が亡くなってからは、維持管理を親戚にお願いしていました。

後に、実家の農地の現状や、地域農業の担い手が減少している現状を知り、自分も担い手の一員として農業を支えていきたいという思いが強くなり就農を決意しました。

生まれ育った水戸で地域に根ざした農業に取り組みたいと考えています。



Q 3. 今後の目標・展開を教えてください★



まずは、年間通して季節の野菜を栽培できるようになることが目標です。その中で季節ごとの農業体験などのイベントも計画していきたいと思います。ロゴマークにもなっているように、猫の事業も今後行っていく予定です。

農業体験や猫との触れ合いの場を同じ酒門の土地で体験できるコミュニティスペースを作っていく予定です。

📍インタビューをして…📍

3月、圃場にお邪魔させていただきました！メインのトウモロコシの時期には少し早かったため、後日トウモロコシ畑でのお写真をご提供いただきました！（最上部の写真です📷）

お話を伺う中で、すべての作業をお二人で行っていると聞き、大変驚きました！今後の展開や目標を話すお二人のキラッと輝く姿が大変印象に残っています。インタビューのご協力ありがとうございました！



次回vol.15（8月発行）では、「おに農園 鬼澤さん」をご紹介します！

TOPICS

こども食堂・こども宅食(食事食材提供団体)への政府備蓄米の無償交付の受付開始！ **令和8年度 交付申請受付中**



農林水産省では、ごはん食を通じた食育の推進を図るため、こども食堂・こども宅食やフードバンクに政府備蓄米を無償交付しています。また、児童・生徒・幼児等における「米の備蓄制度」への理解促進などのため、学校等給食に使用するお米の一部に対し、政府備蓄米を無償または有償で交付しています。

この度、こども食堂・こども宅食(食事食材提供団体)において、交付申請の受付が開始しました。詳細は農林水産省HPをご確認ください。

こども食堂・こども宅食

- 支援対象：ごはん食の提供又は食材としてお米を提供・配布する団体・運営者の取組
- 支援要件：食事の提供やお米を配布する際などに、ごはんの魅力を伝えるなど食育の取組を行うこと。
- 支援上限：団体ごとに1申請当たり600kg(年度内に合計5回の申請が可能)
- 申請受付：令和8年度の申請受付は、令和9年2月までを予定



農林水産省HP
政府備蓄米の交付について ▶



<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/bichikumai.html>

農林水産省HP
こども食堂・こども宅食への
政府備蓄米の交付について ▶



https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/kodomo_bitiku_kouhu.html

TOPICS

令和8年度 農薬危害防止運動 ～使用前、周囲よく見てラベル見て～

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。



実施事項や重点指導項目の詳細は、農林水産省HP「令和8年度 農薬危害防止運動」の実施についてをご覧ください！ ▶



<https://www.maff.go.jp/j/press/syoutan/nouyaku/260428.html>

実施期間

原則、令和8年6月1日(月曜日)から8月31日(月曜日)までの3か月間



TOPICS

棚田めぐりませんか？棚田の魅力が1枚に！棚田カード第6弾 発行

農林水産省では、棚田を訪れるきっかけになることを願い、棚田カードを作成しており、令和8年4月より、新たに27地区の棚田を追加した第6弾棚田カードが配布されています。

この棚田カードには、棚田を御存知の方はもちろん、棚田を知らない方や馴染みのない方にも棚田の魅力を「行って」「見て」「知って」もらいたい、そして、棚田を含む地域活性化に役立ってほしいという思いを込めています。

棚田カードの配布方法・場所や棚田めぐりマップ・めぐりガイドの詳細は、右の二次元コードやURLで御確認ください。https://www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/card_list.html



EVENT**第14回「食品産業もったいない大賞」エントリー募集中!**

「食品産業もったいない大賞」は、食品産業の持続可能な発展に向けて、食品ロス削減や食品リサイクル等において顕著な実績を挙げている企業、団体及び個人を表彰し、取組内容を世の中に広く周知することを目的として実施します。

応募対象は、食品に関係する「もったいない」に関する取組を行っている、食品関連事業者、学生、個人等です。

皆様のご応募をお待ちしております。

✓ 募集締切日
令和8年6月15日(月曜日)



応募方法などの詳細は、
農林水産省HPをご覧ください!!



<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/260430.html>

EVENT**第2回「食と農をつなぐアワード」取組募集中!**

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、食料・農業・農村基本法等の趣旨を踏まえ、生産者・食品事業者から消費者まで、食料システムに関わる関係者・関係団体間の相互理解と連携・協働を促す優良な取組を行う企業・団体・個人を令和7年度から表彰しています。

応募対象は、食料システムに関わる、関係者の相互理解と連携・協働を促す取組を行う企業・団体・個人です。食と農をつなぐアワード特設ページ内応募フォームより、奮ってご応募ください!

✓ 募集締切日
令和8年7月27日(月曜日)

農林水産省
HPはこちら



https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525_1.html

食と農をつなぐアワード2026特設ページ(外部サイト)



https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2026/aw_connect.html

EVENT**第2回「FOOD SHIFT セレクション」産品募集中!**

農林水産省は「ニッポンフードシフト」事業の一環として、国産農林水産物を積極的に選んでもらうため、優れた産品を令和7年度から募集し、「FOOD SHIFT セレクション」としてその魅力を発信しています。応募対象は、国産農林水産物の積極的な選択の推進に資する産品です。審査は書面及び試食により行われます。

FOOD SHIFT セレクション特設ページ内応募フォームより、是非ご応募ください!

✓ 募集締切日
令和8年7月27日(月曜日)

農林水産省
HPはこちら



<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/260525.html>

食と農をつなぐアワード2026特設ページ(外部サイト)



https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2026/aw_selection.html

Request 広報紙アンケートにご協力ください

今後の広報紙づくりの参考とさせていただきますので、ぜひ率直なご意見をお寄せください。

こちらのアンケートフォームよりご回答ください。

<https://forms.office.com/r/4rn7F5DvcY>

**地方参事官ホットライン ☎ 029-221-2185**

農政に関するご相談、事業や制度へのご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせください。また、広報紙に関するご意見等もお待ちしています。

お問合せフォーム



<https://www.contactus.maff.go.jp/j/kanto/form/ibaraki/28hotlineibaraki.html>

茨城県拠点HP



<https://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/ibaraki/index.html>